

● 広報

おくび



2013

5

NO.703



我が家の
おひ
お陽さま
シリーズ ①

～元気に育ちますように～

4月16日に健康管理センターで開催された「あそびの広場」では、5月の節句にちなんで、お母さんやおばあちゃんと新聞紙で兜かぶとをつくりました。参加者は、子どもがすくすくと育つよう、祈りをこめて作っていました。

ごみの減量化とたい肥化

～循環型社会形成に向けて～



本町のごみ排出量は、分別回収やマイバック運動の展開など、町民の皆さん一人ひとりの意識の向上により、年々減少傾向にあります。しかし、置賜管内で比較すると、一人あたりの排出量は、依然として多い現状にあります。ごみ排出量を減少させることは、その処分費用の軽減につながることも、生ごみをたい肥化し再資源化すること、農家や消費者に新たな役割が生まれ、地域の活性化にも結びつきます。今月は、本町のごみの現状と生ごみのたい肥化に向けた取り組みを紹介し、循環型社会の形成について考えます。

本町のごみ処理について

私たちが日々暮らしていくなかで発生したごみは、清掃業者が収集した後、分別されたごみごとに置賜広域行政事務組合の処分場で処理されています。

置賜広域行政事務組合は、置賜管内3市5町のごみ処理を担っており、その処理費用は、管内市町の分担金によりまかなわれています。

本町では、平成22年4月1日から、町内の商店8店舗が

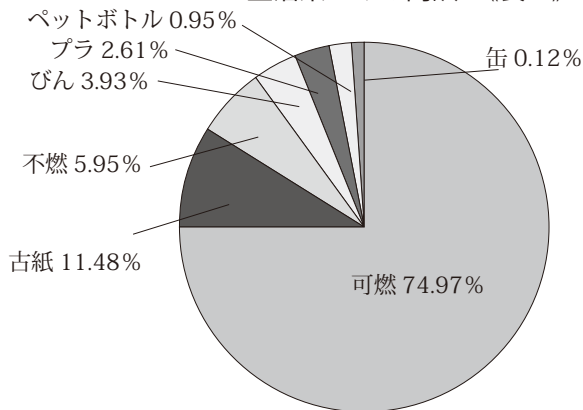
レジ袋の有料化を実施し、マイバック運動を推進するなど、リサイクルとごみの減量に対する運動が展開されてきました。

普段の生活から出る生活系ごみ一人一日当たりの排出量は、平成16年度が498グラムであったのに対し、平成22年度は472グラムとなり、減少傾向にありました。

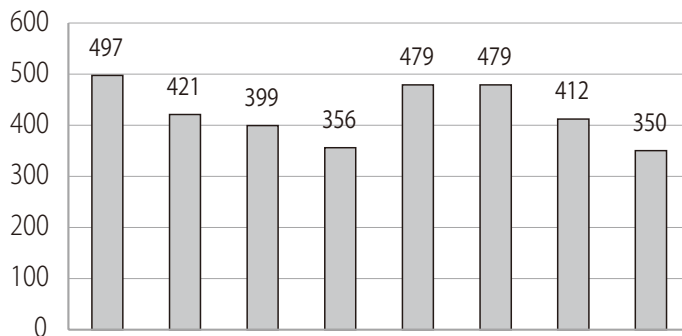
しかし、平成23年度は497グラムと増加し、置賜管内で最も多くなっています。(表1)

生活系ごみの内訳をみると

生活系ごみの内訳 《表2》



平成23年度生活系ごみ1人1日あたり搬入量(g)《表1》



小国町 長井市 白鷹町 飯豊町 米沢市 南陽市 高畠町 川西町

【置賜広域行政事務組合 調べ】

全体のおよそ75%が可燃ごみとなっており(表2)、そのうち約40%が生ごみといわれています。

平成24年4月に改訂された小国町環境基本計画においては、平成28年度までの生活系ごみ一人当たりごみ排出量の目標値を、平成22年度の472グラムから50グラム削減し、422グラムと設定しました。

この目標値を達成するためには、生活系ごみのなかでも多くを占める可燃ごみを減らすことが大切であり、その中でも、生ごみを減らすことにより、効率良くごみ処理を行っていくことにもつながっていきます。

生ごみを減らすためには、必要以上の食材は買わない、食べ残しを減らす、生ごみを有効活用するなど、各家庭における日常生活での取り組みが必要となります。

生ごみを資源へ

可燃ごみとして処分されて

きた生ごみを減らし、かつ、有効活用するための対策として挙げられるのが、生ごみのたい肥化です。生ごみをたい肥化し、野菜などの栽培肥料とすることで、資源として活用することが可能となります。

平成21年度以降、町では、町衛生組合と連携しながら、生ごみを活用した、効率的、効果的なたい肥化方法の検討を重ねてきました。

本町において課題とされてきたのは、冬期間、雪に覆われ日照時間も少ないため、生ごみの発酵に適した温度を維持できるかということです。

しかし、平成22年度に、町とNPO法人有機農産物普及・堆肥化推進協会と共同で行ったたい肥の製造実験の結果、小国町のような気候や環境であっても、生ごみは発酵菌の活用、混合、かくはん、水分調整等により、簡易な方法で悪臭のない、農家でも活用できるたい肥が年間を通じて製造できることが実証されました。

平成24年度には、たい肥化の手法を普及、拡大させるとともに、こうした取り組みを推進するリーダーの養成を図るため、生ごみたい肥化アドバイザー養成講座を計7回開催し、16名のかたがアドバイザーとなりました。

この中で、同講座を受講し、生ごみたい肥化と、それを利用した作物の栽培を行っている川崎勇光さん(宮の台)にお話を伺いました。

「会社を定年退職してから、自宅の畑で野菜栽培を始めました。しかし、もともと作物の育ちにくい土壌であったため、栽培に適しているとは言えない状態でした。そこで、土壌改善しようと取り組み始めたのが、生ごみから作ったたい肥を活用する方法です。生ごみを細かく裁断するとい



川崎 勇光さん

《平成25年度生ごみたい肥化モデル事業》

一般家庭 生ごみたい肥の一次発酵

- ①生ごみの水分をよく切り細かくする
- ②生ごみをたい肥バケツに入れる
- ③ぼかし肥を入れる
- ④①から③を1週間繰り返す
- ⑤1週間熟成させる

一般家庭の生ごみを回収し農家へ

農 家 生ごみたい肥の二次発酵

- ①一次発酵した生ごみたい肥を畑の土に戻す
- ②米ぬかや腐葉土などを加えてよく混ぜる
- ③土をかぶせる
- ④一カ月そのまま熟成
- ⑤野菜の種や苗の植え付け

一般家庭からの生ごみたい肥で野菜をつくる

農業との連携を目指して

う部分は多少手間がかかりますが、ごみ捨てに行く回数は減り、自宅で野菜を作れるようになったことで、野菜を買ったり、野菜を育てるための肥料を買う必要もほとんど無くなりました。現在は、ジャガイモ、ネギ、トウモロコシなど、たくさんの種類の野菜を栽培しています。また、たい肥づくりの際に発生する熱を利用して、かいわれ大根づくりに挑戦しました。今後は、アドバイザーとして、多くのかたにたい肥化の方法を広めたいですし、他の種類の野菜ももちろんですが、花なども育ててみたいと考えています。今後も楽しみながら続けていきたいです。」

平成25年度からは、新たな取り組みとして、農業との連携を目指し、一般家庭と農家のかたにご協力いただきながら、生ごみたい肥化事業を進めています。

この事業では、コバレント

マテリアル㈱アパートにお住まいの10世帯にモデル世帯としてご協力いただき、生ごみ堆肥化の最初の工程である一次発酵に取り組んでいただいています。

一次発酵は、調理の際に発生した野菜くずなどを細かく切り密閉バケツに入れ、そこにぼかし肥を入れておくものです。

それから、2週間後に密閉バケツを回収し、農家に運びます。その後、農家では二次発酵を行い、生ごみたい肥を利用して野菜などを育てることになります。

こうした取り組みを通して、畑を持つていない家庭でごみを減量化し、かつ、農家にたい肥を利用してもらうことで、資源が循環する仕組みをつくっていきこうというもの



たい肥化用密閉バケツ



山崎真理さん宅の様子

です。
実際にモデル世帯として
取り組んでいる山崎真理さん
(小国町)は次のように話して
くれました。

「最初はにおいや衛生面など、少し不安な部分もありました。しかし、始めてみると、ごみの量が半分ほどになりましたし、においもほとんど気になりませんでした。ごみとして捨てていたものが再利用できるということは非常に良いことだと感じています。また、有機野菜だと値段が高いというイメージがありますが、手頃な価格で購入することができるようになれば、家

計にも負担がかりません。
最近には特に外国産食品が多くなってきたので、たい肥化がきっかけで地元産の野菜が多く出回るようになれば、安心して食べることもできます。ごみは資源化できるということを意識しながら、これからごみを減らせるようにしていきたいです。」

参加できる仕組みづくりへ

生産された野菜は、これまで、農家から消費者へと一方通行でしたが、生ごみ再資源化の取り組みによって、作物の消費者はたい肥の生産者となります。

生ごみは野菜づくりの肥料となり、野菜となって家庭へ戻るという循環へとつながっていきます。そこで、こうした循環を進めていくためには、その仕組みを確立していくことが重要です。

本町において、自然循環を意識し、環境に優しい農法を用いて農作物の栽培を行っている「ぶなの森エコ倶楽部」

で活動している齋藤恒助さん(緑町)に循環型農業についてお話を伺いました。

「生ごみは、臭い、汚いといったイメージから敬遠されがちです。そのため、その悪いイメージを少しでも変えていけるように、みんなが参加できる循環型農業の仕組みづくりが必要と感じています。畑を持たない人でもたい肥づくりに参加できれば、自分が手を使ったことで実感がわいてきます。また、行政だけでは難しい部分も多いので、我々のような住民組織やNPO法人などが参画し、活動の幅を広げることにより、スムーズに進む面も多いと思います。安心、安全な野菜であれば、地元産野菜購入へつながり、地産地消となることで町内に循環が生まれます。生



齋藤 恒助さん

ごみは循環型社会を進展させる突破口になるのではないのでしょうか。」

循環型社会を目指して

このように、生ごみをたい肥化し、地元野菜の栽培に活用していくことにより、ごみの減量化と資源化の両方が促進されます。またそこで栽培された野菜を消費することで、資源が循環されます。

そのためには、行政だけでなく、「ぶなの森エコ倶楽部」のような民間も含め、幅広く活動に携わる人が取り組みを継続していけるための仕組みづくりを進めていく必要があります。

今後も町では、ごみの減量化推進とともに、今年度の生ごみたい肥化の取り組みを検証しながら、家庭でのたい肥化支援や分別の徹底、回収の方法、たい肥製造管理、たい肥利用方法など、引き続き町全体での持続可能な循環型社会の構築を目指していきます。

就任のあいさつ

小国町教育長 遠藤啓司



このたび、4月1日付けをもちまして、小国町教育長を拝命し、その重責に身の引き締まる思いと、職責を全うする覚悟を新たにしております。

生まれ育った故郷・小国町に帰り、微力ではございますが、小国町教育目標である「ふるさと小国を担う人づくり」を目指し、誠心誠意、子どもたちのたくましく生きる力を育て、町行政の振興・発展の実現を図ります。また、喫緊の町教育改革や町教育諸問題の改善に努めるよう、町民の皆様のご理解とご協力をいただき、38年間の教員生活と県教育行政等での経験を生かし、職務に専念し、職責を全うするよう全力を尽くしますので、よろしくお願い申し上げます。

消防団長に伊藤孝太郎氏就任



4月1日付で、伊藤孝太郎さんが、小国町消防団長に就任し、町長から辞令が交付されました。

伊藤団長は、「歴代の団長を見習いながら、火災だけでなく自然災害などあらゆる事態に対応できるよう、これまで以上に行政や自主防災組織と連携していきます。町民に信頼される消防団として、団員の協力を得ながら職責を全うしたいです。」と話してくださいました。

新人権擁護委員に

伊藤れい子さん



4月1日から、新たに伊藤れい子さん（叶水）が人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。

前人権擁護委員

神保たえ子さんが表彰



山形地方法務局長感謝状贈呈式が、4月4日、役場で行われ、平成25年3月をもって人権擁護委員を退任された神保たえ子さん（小国小坂町）に感謝状が贈られました。

お気軽に

お尋ねください

町では、役場2階ロビーに、総合案内窓口を設置しました。

担当する部署の場所や、部署そのものがわからないなど、ご不明な点やお困りのことがございましたら、お気軽にお声掛けください。



職員がご案内します。

役場以外でも

住民票と印鑑登録証の
交付を行います

4月1日から、町民の利便性向上のため、次の2カ所でも住民票、印鑑登録証の申請や交付を行っています。

たるかわ みほ

樽川 美穂 隊員

地域づくりに興味が
あり参加しました。小
国町を肌で感じなが
ら、地域づくり策を提
案していきたいです。



はまだ ゆうた

濱田 裕太 隊員

客観的な視点をもち
ながら、地域のかたが
もっている考えや想い
を積極的に町外へ発信
していきたいと思っ
ています。



地域に新しい風を

第20期緑のふるさと協力隊 着任

活動スタート

本年度から、新たに緑のふるさと協力隊員として活動する樽川美穂さん（神奈川県横浜出身）と濱田裕太さん（長崎県佐世保市出身）が4月11日に着任し、委嘱書の交付を受けました。

樽川さんは白沼・東部地区、濱田さんは沖庭・北部地区を主な活動地区とし、年間を通じて農作業体験や集落の共同作業、地域イベントへの参画など、様々な活動に取り組んでいきます。

緑のふるさと協力隊とは

NPO法人地球緑化センター（東京）が展開する、農山村に関心を抱く若者たちを地方自治体に1年間派遣するプログラムです。

平成6年度から制度がスタートし、これまで618人の若者が全国各地に派遣されています。本町においても、平成22年度から隊員を受け入れ、これまで5人のかたが活動を展開してきました。

■申請・交付場所

① 白い森ショッピングセンターアスモ内「まちの駅」

② 健康管理センター

■申請・交付できる書類

住民票謄本

住民票抄本

印鑑登録証明書

（印鑑登録はできません）

■申請者、持参するもの

▽住民票

本人または同一世帯のかた

（印鑑と運転免許書など）

本人確認できるもの持参）

▽印鑑登録証明書

印鑑登録証を持参したかた

■交付手数料

いずれも1通400円

■受付時間

① アスモ「まちの駅」

午前10時～午後4時30分

② 健康管理センター

午前8時30分～午後5時15分

■手続きについて

備付けの交付申請書に必要な事項をご記入ください。

※なお、役場窓口以外での交付については、多少時間を要しますのでご承知おきください。

～町政懇談会を開催します～

各地域や団体のかたがたから身近な話題などをお聴きし、まちづくりについて意見を交換する町政懇談会を開催します。

■対象団体

各地区の自治会、婦人会、老人会、スポーツ・文化団体などまちづくりに積極的に参加する団体

■開催方法

- ①希望する日時、懇談会のテーマなどを明記した申込書を提出してください。
- ②町長のほか関係する担当課長などが出席します。
- ③会場の設定、進行は各団体にお願いします。

■申込・問合せ先 総務企画課地域振興室へ



町立病院医師に
仁科 武人 先生

4月1日から、町立病院内科に仁科武人（たけと）先生が着任し、診療にあたられています。仁科先生は米沢市出身で、これまで山形県立中央病院に勤務されてきました。「専門は消化器内科です。ひとりひとりの患者さんに時間をかけながら話をよく聞いて、安心していただけるような医療に取り組んでいきたいと思っています。」と話してくれました。

知事と語ろう市町村ミーティング i n 小国町が開催されます！

吉村美栄子山形県知事が小国町を訪れ、「高齢者・子育てにやさしいまちづくり」のテーマのもと、地域の課題や県政全般について住民と直接意見交換する「知事と語ろう市町村ミーティング」が開催されます。この機会にぜひみなさんのお声をお聞かせください。



- ◇日 時／6月5日(水) 午後1時30分～午後3時30分
- ◇場 所／健康管理センター「森のホール」
- ◇申込期限／5月10日(金)
- ◇申込・問合せ先 総務企画課地域振興室へ

平成26年度小国町職員を募集します

■職種と募集人員

- ① 上級行政2名(大学卒業程度)
- ② 上級土木1名(大学卒業程度)
- ※他の職種等については、6月号でお知らせします。

■受験資格

- ① 昭和58年4月2日から平成4年4月1日までに生まれたかた
- ② 昭和58年4月2日から平成4年4月1日までに生まれたかた
- ※①②とも平成26年3月大学卒業見込みのかたを含む

■申込書の受付期間

5月13日(月)～6月14日(金)(必着)

■受付時間及び受付場所

午前8時30分～午後5時15分まで

① 持参する場合

総務企画課法務行政担当へ直接提出してください。

② 郵送の場合

封筒の表に「小国町職員採用試験受験申込書在中」と朱書きのうえ、簡易書留により6月14日必着で郵送してください。

■試験日及び会場

一次試験 6月30日(日)
山形テルサ(山形市)
二次試験 7月下旬
小国町役場

■試験内容

▽一次試験

① 教養試験、職場適応性検査、作文試験

② 教養試験、専門試験、職場適応性検査、作文試験

▽二次試験

一次試験合格者を対象として面接試験を行います。

■提出書類

(1) 小国町職員採用試験受験申込書(指定様式) 1通

(2) エントリーシート1通(指定様式)

(3) 住民票抄本(本籍地の記載不要、平成25年5月1日以降発行のもの)

(4) 写真(サイズ縦6センチ横4・5センチ) 3カ月以内に撮影した上半身、脱帽、正面向きのものを2枚用意し、受験申込書及び受験票にそれぞれ貼付してください。

(5) 終学校の卒業(見込) 証明書

■受験票の交付

受験申込書の受理後、本人あてに送付します。(届いた後に氏名、住所等について変更があった場合は連絡してください。)

問合先 総務企画課行政管理室へ

～町長室便り～
雨ニモマケズ⑦

一日怠ければ十年遅れる

盛田 信明



いよいよ新年度がスタートしました。私は、今年を「小国町再生元年」とすべく、三ヶ月定例議会で施政方針を明らかにし、新年度予算の議決をいただきまして、この一年、必要なものをためらうことなくきちんと選択し、「町民主役のまちづくり」に邁進してまいります。

さて、日露戦争時代、世界最強といわれたロシアのバルチック艦隊を破り、「天気晴朗ナレドモ波高シ」の有名な電文を発信した海軍名参謀秋山真之は、「自分が一日怠れば日本が一年遅れる」と言って精進したと言われております。テンポの速い現代では、私は、「一日怠れば十年遅れる」ことになると思います。

本町を取り巻く社会経済環境は、依然として厳しい状況にあります。高年齢者福祉の

推進、子育て環境の整備、産業振興と雇用確保など、スピード感のある町政運営を着実に進め、人口一万人復活に向けて取り組んでまいりますので、町民の皆様の一層のお力添えをお願い申し上げます。

また、小国の宝である子供たちの新学期が始まりました。関係者が一丸となつて交通事故のない安全な通学等をめざしてまいります。



大宮神社での交通安全祈願祭



30年の歴史に幕 ～おきにわ保育園閉園式～

おきにわ保育園の閉園式が、3月27日、同保育園で行われました。

式では園児や保護者の歌の披露や、出席者一同で記念写真の撮影、青空の下での風船飛ばしなどが行われるなど、保育園生活の名残りを惜しみながらも、笑顔にあふれた閉園式となりました。

おきにわ保育園は、昭和58年4月の開園以来、308名の「おきにわっ子」を育ててきた30年の歴史に幕を下ろしました。

園児への贈り物 ～絵本の贈呈式～



町内のNPO法人・白い森山楽隊^{さんがくたい}（玉津修理事長）が、町に絵本20冊を贈呈することとなり、4月11日、健康管理センターで贈呈式が行われました。

贈られた絵本は「ドクトルパンダとジム太」で、パンダが小型四輪駆動車に乗って人助けをするという物語です。この絵本は、保育園や子育て支援センターなどで活用される予定です。

子どもの未来を守るために ～チャイルドシート取付啓発運動～

自動車へのチャイルドシート着用率向上を目指した啓発活動が、4月10日、町内各保育園前で一斉に行われました。

小国町交通安全母の会会員らが啓発チラシを保護者ら一人ひとりに手渡ししながら、「お子さんを守るために、チャイルドシートの着用をよろしくお願いします」と呼びかけていました。



最後の入学生 ～沖庭小学校入学式～



来年3月に閉校を迎える沖庭小学校の入学式が、4月7日、同校で行われ、新入生3人が入学しました。

式では、在校生から「みなさんの入学を楽しみに待っていました。今年は全校児童で歌舞伎に挑戦します。みんなで協力して楽しい1年にしていきましょう。」と歓迎の言葉が贈られました。新入生は、「おにいさん、おねえさん、せんせい、よろしくお願いします。」と元気にあいさつしていました。

新入団員6名に辞令を交付 ～小国町消防団辞令交付式～

小国町消防団辞令交付式が、4月14日、総合センターで行われました。

6名の新入団員のほか、昇格した幹部団員などに対して、伊藤孝太郎小国消防団長から辞令書が交付されました。

伊藤団長は、「町の生命、財産を守るため、あらゆる要請に対応できるよう、日ごろから積極的に訓練をしていただきたい」と訓示を行いました。



自分への挑戦 ～スポーツ少年団入団式～



小国町スポーツ少年団本部の入団式と春季体力テストが、4月7日、町民総合体育館で行われ、各スポーツ少年団から約100人の子どもたちが参加しました。

遠藤教育長から「元気いっぱいに楽しみながら、スポーツを好きになってください」という言葉を受け、子どもたちは上体おこし、腕立て伏せ、時間往復走、立ち幅跳び、5分間走の5種目に一生懸命挑戦しました。

館内には「がんばれ!」という保護者などからの声援が何度も響きわたりました。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

《小坂町勤労者住宅》

2K 2戸(2階・3階)

▽家賃 33,000円

《岩井沢勤労者住宅》

3DK 1戸(3階)

▽家賃 42,000円

▽対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 5月13日(月)

■入居時期 5月下旬以降

■問合せ先

地域整備課建設管理室へ

山形県警察官募集

■職種と受験資格

①警察官A 昭和53年4月2

日から平成8年4月1日ま

でに生まれたかたで、大学

を卒業したかた、または平

成26年3月までに卒業見込

みのかた

②警察官B 昭和53年4月2

日から平成8年4月1日ま

でに生まれたかたで、警察

官Aの受験資格に該当しないかた

■申込期間

①5月14日(火)～6月24日(月)

②8月2日(金)～9月2日(月)

■試験日程

①7月14日(日) ②9月22日(日)

■問合せ先 小国警察署へ

(☎62・0110)

農業経営実践講座

新規就農者やさらに栽培技術や経営管理の習得を目指す農業者を対象に講座を開講します。

■内容

①米づくり②野菜栽培③切り花④果樹栽培⑤乳牛・肉

牛の飼養管理⑥パソコン簿記基礎講座⑦新規就農者支

援

■受講料

無料(教材費等で実費負担

の場合あり)

■申込期限

5月27日(月)

■申込・問合せ先

西置賜農業技術普及課(☎

88・8212)へ

乳児の健康相談を行います

町では、生後5カ月から11カ月のお子さんを対象に、乳児の健康相談を行っています。お子さんの成長や発達を確認したり、育児について相談したりする機会としてぜひご利用ください。

◇内容

問診、身体測定、個別相談、栄養の話(7、8カ月頃の離乳食について)

◇日程

5月15日(水)、7月17日(水)、9月18日(水)

11月20日(水)、1月15日(水)、3月12日(水)

◇時間

午前10時～午前11時30分

◇場所

健康管理センター「森のホール」

◇持ち物

母子健康手帳

◇申込み

各相談日の3日前までお申込みください。

◇問合せ先

健康福祉課へ

町内の空間放射線量をお知らせします。

～いずれの場所の数値も

人体に対して影響のない水準です～

■4月22日(月)の空間放射線量

測定場所	測定値 (μ Sv/h)
旧北部小中学校 グラウンド	0.09
沖庭小学校 グラウンド	0.10
旧小玉川小中学校 グラウンド	0.07
旧玉川小中学校 グラウンド	0.07
小国小学校 グラウンド	0.10
小国中学校 グラウンド	0.10
叶水小中学校 グラウンド	0.09
旧伊佐領小学校 グラウンド	0.08
旧白沼小中学校 グラウンド	0.08

※測定値は地上から50cmの高さの値で、単位は1時間あたりのマイクロシーベルトです。

■問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

今月の出前町長室は以下のとおりです。お気軽においでください。

9日(木)17:00~19:00、30日(木)10:00~12:00 【アスモ街なか情報ステーション】

町長室専用メール

shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用 FAX 0238(62)2611

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日時 5月7日、14日(子
育て講座・幼児救急講座)、
21日、28日、いずれも午前
10時~11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前
のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日時 5月2日、9日、
16日、23日、30日、いずれ
も午前10時~11時30分

■場所 おぐに保育園

■対象者 0歳から入園前
のお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆

■日時 5月9日、23日
午後1時~午後3時30分

■場所 おぐに保育園

■対象者 生後4カ月から18
カ月のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 5月18日(土)
午前9時30分~午後2時

■場所 りふれ周辺

■内容 自然散策など

■対象者 おおむね2歳から入
学前のお子さんとおうちのかた

◆問合せ 子育て支援センターへ

5月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■2歳児健診

- ・期 日 5月29日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成22年9月~
平成22年11月生まれ

■4カ月児健診

- ・期 日 5月31日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成25年1月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 5月31日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成24年5月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参く ださい。

4. 問合せ 健康管理センターへ

求 人 情 報

右の表は、4月24日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合がありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2013.5

5月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●5月27日(月) 水道料

●5月31日(金) 固定資産税 (1期)、介護保険料、下 水道料、簡易水道料、住 宅使用料、保育料等

■問合せ

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤務時間
(株) 高 橋 工 務 店	建設作業補助員	1人	8:00~17:00
エフワン警備保障(有)	警備幹部候補者	1人	8:00~17:00他
	セキュリティスタッフ	1人	8:00~17:00他
N P O 法人まんまる	支援員【急募】	2人	6:30~20:30の間の7.5時間 または7時間以上
(有) 三 浦 電 設	調理及び家事手伝い	2人	5:00~20:00
(株)小国自動車整備工場	車両整備	1人	8:00~17:00
(株)ケイ・プロダクツ	自動車整備	1人	9:00~18:00
おぐに白い森(株)	木工品制作補助	2人	8:30~17:15
(株) 山 芳 工 務 店	電気設備施工管理	2人	8:00~17:00
(株) 横 川 建 設	現場管理、配送運転手・他	6人	8:00~17:00
	【急募】事務員	2人	
(株) 船 山 工 務 店	土木作業員	1人	8:00~17:00
安 部 工 業 (株)	一般作業員、型枠大工	2人	8:00~17:00
(有)小国測量設計事務所	測量・設計	2人	8:00~17:00
大 河 内 産 業 (有)	ダンプ・重機運転手、事務員・他	8人	8:00~17:00
小 国 町 森 林 組 合	伐木・集材作業員	2人	7:30~17:00
小 国 町 教 育 委 員 会	事務員	1人	8:25~16:55
(株) ナ ウ エ ル	ホールアシスタント (置賜エリア)	5人	8:30~19:00の間の3時間以上

※今月は、4月以降に登録された求人を掲載しています。

林業機械操作の技術研修会を開催します

◇対象者

町内に住所を有するかた又は町内の職場に勤務しているかた

◇日時

①刈払機研修 6月7日(金) 午前9時から

②チェーンソー研修

6月27日(木)～28日(金) 午前8時30分から

◇場所

おぐに開発総合センター

◇申込期限

①5月29日(水) ②6月17日(月)

◇定員

各20名(定員になり次第締切)

◇受講料

各3,000円(テキスト、保険料代含)

◇その他

各機械を持参ください。(数台に限り貸出可)

修了者には労働安全衛生教育修了証を交付します。

◇申込・問合せ先

小国町森林組合(☎62-2229)へ

～小国の森を満喫～

「野鳥観察会」春鳥の朝のコーラスを聞きに行こう

・日時 5月18日(土) 午前8時30分から

・場所 健康の森「よこね」

・定員 先着10名

・申込期限 5月15日(水)

「よこねトレッキング」森のガイドと春のブナ林を歩こう

・日時 5月25日(土) 午前9時30分から

・場所 健康の森「よこね」駐車場集合

・定員 先着20名

・申込期限 5月22日(水)

☆参加費はいずれも一人500円(保険料等)です。

☆申込先 NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊
(☎050-7507-5955)へ

小国町立歯科診療所の診察時間について

先月号でお知らせしました、4月1日から診察を開始している町立歯科診療所の受付と診察時間について、まぎらわしい点がございましたので、再度掲載いたします。

歯科 ※予約制	受付	10:00～12:30 / 14:00～18:00
【毎週火～土曜日】	診察	10:00～13:00 / 14:00～18:30

問合せ先：町立病院(☎61-1111)へ

相 談

年金相談……………

■日時 5月15日(水)
10:30～14:00

■場所 役場町民相談室

■対応者 米沢年金事務所職員

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先

町民税務課住民窓口担当へ

人権相談……………

■日時 5月22日(水)
10:00～12:00

■場所 総合センター

■対応者 町人権擁護委員

■問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

消費者相談……………

■日時 5月25日(土)
10:00～15:00

■場所 役場雇用相談室

■対応者 司法書士 舟山健蔵氏

■申込み 事前に申込みが必要です。

■申込・問合せ先

町民税務課町民生活担当へ

弁護士無料法律相談……………

■日時 6月7日(金)

■場所 総合センター

■申込み 5月31日(金)まで

■申込・問合せ先

町民税務課町民生活担当へ

予防接種に関するお知らせ

4月1日より、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、子宮頸がん予防ワクチン(ヒトパピローマウイルス)の3ワクチンが定期接種になりました。

これまでと接種方法、料金等は同様に受けられ、無料です。新しく該当になれるかたには、新生児訪問の際にお知らせします。

なお、接種対象時期、間隔等の詳しいことは、町ホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。

問合せ先 健康福祉課へ



●小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
 ●行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室・地域振興室 ☎62-2264
 ●国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
 ●農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●会 計 室 ☎62-2406
 ●建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448 ●建設管理室・水道管理室 ☎62-2431

小国町住宅リフォーム総合支援事業

■補助要件

- ①補強（耐震）・省エネ・バリアフリー・県産木材・
克雪のいずれか一つ以上を含む工事で、かつ町の定
める基準点を満たすこと。
- ②町内に住所を有するかたで、自己が町内に所有し居
住する住宅又はそれに付属する建築物等にかかる工
事であること。
- ③所有者との請負契約により、町内に所在地を有する
事業者が施行すること。
- ④工事に要する費用が30万円以上であること。
- ⑤着工の1カ月前までに交付申請し、平成26年2月
28日までに工事の完了報告書を提出できること。

■補助金額

工事に要する費用の10分の2の額と、40万円のい
ずれか低い額。※住宅1戸に対して、1回に限って交
付します。

■その他

詳しい補助要件、申請様式等については、お問合せ
ください。

■申請受付 平成25年5月1日(水)～

■問 合 先 地域整備課建設管理室へ

介護職員初任者研修課程 受講支援事業のお知らせ

介護職員初任者研修課程を受講されたか
たについて、申請いただくと受講料の一部
が助成されます。

【助成対象】

- ①小国町に住所があり現在も居住しているかた
- ②平成25年4月1日から平成26年3月
31日までに同研修課程を修了したかた。
(平成25年3月31日までにホームヘル
パー2級取得講座の受講を開始し、同年
4月1日以降にホームヘルパー2級取得
したかたについては、②要件を満たすも
のとする。)

【助 成 額】 受講料の一部（上限50,000円）

【申請方法】

同研修課程終了後に申請してください。

【必要なもの】

受講修了証の写し、受講料領収書の写し、
印鑑、振込先口座番号を確認できるもの

【問 合 先】 健康福祉課介護福祉担当へ

入札結果をお知らせします。（平成25年4月1日～20日実施）

単位（円）

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H25.4.17	平成25年度町道道路維持修繕業務委託 (第1工区)	町中心部	H26.3.31	3,259,000	(株)船山工務店	3,200,000
H25.4.17	平成25年度町道道路維持修繕業務委託 (第2工区)	東部・東南部	H26.3.31	3,261,000	安部工業(株)	3,200,000
H25.4.17	平成25年度町道道路維持修繕業務委託 (第3工区)	南部	H26.3.31	3,902,000	大和建設運輸(株)	3,850,000
H25.4.17	平成25年度町道道路維持修繕業務委託 (第4工区)	北部・北東部	H26.3.31	3,878,000	(株)横川建設	3,750,000
H25.4.17	平成25年度町道舗装補修業務委託	町道全路線	H26.3.31	3,390,000	小国開発(株)	3,350,000
H25.4.17	平成25年度小国町水道事業石綿管更新設計業務委託	大宮	H25.7.10	5,700,000	日本水工設計(株) 山形事務所	6,289,000
H25.4.18	平成25年度新小国小学校アクセス道路改良舗装工事	岩井沢	H25.10.25	54,284,000	小国開発(株)	54,000,000
H25.4.18	小国小学校改築事業グラウンド及び周辺整備工事 (平成24年度繰越明許費設定事業)	岩井沢	H25.11.29	127,090,000	小国開発(株)	122,000,000

～情報公開制度と個人情報保護制度の平成24年度運用状況について～

◎情報公開制度 情報公開請求件数2件

内訳▽全部公開0件▽部分公開2件▽非公開0件（不存在を含む）▽異議申し立て件数0件

◎個人情報保護制度 個人情報取扱事務届出件数538件

内訳▽町450件▽教育委員会38件▽選挙管理委員会19件▽監査委員12件▽農業委員会16件
▽固定資産評価審査委員会1件▽議会2件▽開示等請求件数0件

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

兵庫 舘 須 貝 溪 大	(公美 一香)
伊 佐 領 柳 沢 実 羅	(悟菫)
小国小坂町 小 池 湊 大	(辰翔 則子)
兵庫 舘 佐々木 柔 心	(久直 義子)
岩 井 沢 安 部 羽 奏	(和早 幸苗)
北 布 浦 暖 真	(達香 也純)
あけぼの 佐 藤 槇 人	(篤緒 里沙)

結婚おめでとうございます。

(小 国 町 佐 藤 大 輔	京 子
(南 陽 市 安 久 津	裕 翼
(東 根 市 山 口	真 衣
(玉 川 渡 邊	成 希
(埼 玉 県 佐 藤	莉 子
(金 目 齋 藤	幸 和
(長 井 市 小 野	道 子
(綱木箱口 小 野	

おくやみ申し上げます。

大 宮 和 田 ヨ シ エ	(90)
岩 井 沢 八 幡 タ イ	(78)
岩 井 沢 五 十 嵐 ト ミ エ	(80)
緑 町 木 下 フ サ	(80)
舟 渡 塚 原 ミ ツ	(90)
幸 町 島 田 林 助	(77)
大 滝 塚 原 勲	(77)
小国小坂町 今 厚 生	(74)
小国小坂町 安 達 ケ サ	(87)
兵 庫 舘 渡 邊 衛	(84)
若 山 木 村 百 子	(84)

人口のうごき

人口 男	・ ・ ・ 4,205 人 (- 26)
女	・ ・ ・ 4,414 人 (- 52)
計	・ ・ ・ 8,619 人 (- 78)
世帯数	3,187 世帯 (- 35)
	平成25年 3月31日現在

～ふるさとへの想い～

「広報おぐに」では、今年度から新シリーズ『ふるさとへの想い』を連載します。小国を離れて暮らしている皆さんの、ふるさとでの思い出、ふるさとへのエールをお届けします。

シリーズ① 『美しい故郷へ』

佐藤勇次さん
(千葉県東金市在住)



大字樽口出身

私は、小国町樽口の出身で、当時の東芝セラミックス(株)に入社後、新設工場の立ち上げのため、千葉県東金市に移り住みました。定年退職後は、東金市の社会福祉協議会で、高齢者の生きがいを推進する「シルバー人材センター」の設立にかかわり、今も活動を続けています。173名でスタートした会員数も今では450名となり、事業も順調に推移しております。

平成24年6月には、こうした長年の高年齢者の就業に関する取り組みが評価され、全国シルバー人材センター事業協会より表彰していただきました。これを契機に、今まで以上に全会員が心をつなげて、地域社会に貢献していきたいと決意を新たにしましたところ。

ふるさと小国を離れて、43年の年月が流れましたが、小国の厳しくも豊かな自然、季節ごとに見せる美しい風景は、今も私の心に焼き付いています。全国的に人口は減少しておりますが、小国町には人口1万人復活を目指して頑張りたいと思いますし、私も微力ながら、職場や地域のかたに観光名所を紹介するなど小国のPRに努め、陰ながら支えていきたいと考えています。

編集後記

今月号から「広報おぐに」を担当させていただきます。伊藤拓也と申します。早速、様々な行事やイベントなどの取材にお邪魔させていただき、そこで多くの新たな出会いを経験させていただきました。今回の特集記事のキーワードの一つになっているのが「つながり」です。取材という人とのつながりを通して、一つ一つの出会いを大切にしながら、皆様が楽しみにしていただけるような紙面づくりをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

(伊藤)